

港区民大会 新型コロナウイルス対策運営マニュアル

作成：港区バスケットボール連盟

作成日：2021年7月17日

更新日：2022年3月1日

はじめに

本書は港区民大会の実施において感染症拡大防止のために、主催者である港区バスケットボール連盟としての留意点をまとめたものであり、今後の感染拡大状況および社会情勢等を踏まえ、適用を変更する場合がある。前提として JBA の発行する「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)」(以下 JBA ガイドラインと呼ぶ)の最新版に準拠する。最新の情報は JBA「**新型コロナウイルス対策 情報集約ページ**」 http://www.japanbasketball.jp/covid-19_info を参照することとする。

大会を含む事業・活動の可否判断および、大会中の対応については「参加者、スタッフ、関係者の安全確保が最優先」であるため、本書によらず、総合的な判断を各自が持ち、行動することとする。

本書の構成は次の通りである。このうち、「実施ガイドライン」、「チームが遵守すること」、「個人が遵守すること」については、連盟から参加者へ周知しておくことが必要である。

1. 実施まで	2
2. 実施ガイドライン	2
3. チームが遵守すること	2
4. 個人が遵守すること	4
5. 大会までの準備	4
6. 大会中の対応	5
7. 大会後の対応	5
8. 使用する様式等	6

1. 実施まで

(1) 実施までのスケジュール

申込み締め切り	2ヶ月前まで
組合せ作成	1. 5ヶ月前まで
実施の可否を理事会で決議	1ヶ月前まで
参加チームへ実施可否および遵守事項のお知らせ	1ヶ月前まで

(2) 組合せ作成時の留意点

更衣室の分散利用のため

- ・ A/B コートで男子／男子となる場合は試合開始時間を工夫する。また、審判控室や応接室を更衣用に貸出すことも検討する
- ・ 換気のための時間を考慮した試合間とする

(3) 実施の判断

- ・ 緊急事態宣言が発出された場合には中止とする
- ・ 東京都および港区の方針に従う
- ・ 会場である港区スポーツセンターの方針に従う
- ・ 申込み状況と試合日程を加味し、通常通りの開催とするか、変則開催とするかを検討する

(4) 参加チームへの周知

- ・ 実施する場合、しない場合いずれも大会1ヶ月前までにホームページで公開し、参加チームへメールにて連絡する。但し、緊急を要する場合にはこの限りではない
- ・ 実施する場合は、チームと参加者個人が遵守すべき事項を大会規定と合わせて連絡する。必要な資料はホームページでダウンロードできるよう公開する

(5) 大会役員（連盟理事）が行うこと

- ・ 参加者と同様式の「健康チェックシート」(様式 C-2)を記入する

2. 実施ガイドライン

(1) 参加チームの出場について

参加チームは主催者が決めた締め切りまでに「同意書／活動報告書」【様式 C-1】を提出する。主催者はチームに陽性者等が発生した場合の活動状況について確認し、次の対応を行う。また提出後であっても直近の状況や大会当日の状況も踏まえて対応する

- ・ 主催者は、出場チームに陽性者が発生した場合、陽性者が発生した疑いがある場合、または出場チームに十分な回復期間が確保されない場合はチームに対して出場辞退を勧告し、または出場資格を取り消すことができる
- ・ 主催者は、大会までに陽性者の回復、濃厚接触者の隔離期間解除がなされない場合は、出場禁止または参加資格を取り消すことができる
- ・ 主催者は、出場チームに感染疑いが生じて安全性の判明が間に合わない場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる
- ・ 主催者は、大会中に出場チーム(対戦相手チームの場合もある)に濃厚接触者や感染疑いが生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる
- ・ 主催者は、大会中に出場チームに 37.5 度以上の発熱者および COVID-19 とと思われる症状を有する者が生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる

- ・ 主催者は、対戦済みの相手あるいは担当審判に感染疑いが発覚した場合、次戦がある当該チームに対して棄権を指示(勧告)できる

3. チームが遵守すること

(1) 参加チームの活動状況について

- ・ 大会までの1ヶ月の活動状況について、「同意書／活動報告書」(様式 C-1)により主催者へ報告すること

(2) 試合前

- ・ 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせることに
 - 体調が良くない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

＜補足＞ワクチン接種については、少なくとも大会参加の 1 週間前には接種しないことを推奨する。理由として、発熱が参加可否判断になるためである。大会参加時には 4 日前からの発熱の有無を確認するが、この際の発熱がワクチン接種の副反応によるものか、感染による発熱なのかの区別がつかないため、発熱(37.5 度以上が目安)が生じていれば参加不可とする

- ・ 当日の来場者は最低限の人数とすること
- ・ チーム責任者は次の点に留意すること
 - 当日の参加者全てを把握する
 - 試合開始時間、および入場・退場時間を参加者全員に徹底させる
 - 帯同審判、TO、FW(フロアワイパー)担当者を事前に決めておき、担当者の入場・退場時間を徹底させる
- ・ 港区スポーツセンターへ入館する際には、検温を行い、大会参加である旨を告げて入館すること。港区スポーツセンターの指示が別途あった場合はそれに従うこと
- ・ チーム代表者は関係来場者全員に次のことを徹底させること
 - マスクを着用する
 - 「健康チェックシート」(様式 C-2)に記入し提出すること

(3) 試合日

- ・ チーム代表者は関係来場者全員に個人遵守事項を徹底させるよう努める
- ・ 大会当日に体調不良者が発生した場合は、参加をとりやめること

(4) 試合後

- ・ 試合終了後にはベンチ、荷物置き場、その他触れた箇所を各チームで消毒すること
- ・ ゴミは必ず持ち帰るよう、個人でもチームでもゴミ袋を準備すること
- ・ 更衣は接触を避けてできるよう、更衣室を使う場合は入り口を開けた状態で、更衣の順番について工夫する

(5) 帰宅後

- ・ 帰宅後 14 日以内にチーム内に陽性者／濃厚接触者が判明した場合には、必ず報告を受け、港区バスケットボール連盟へ報告すること

4. 個人が遵守すること

(1) 試合前

- ・ 15 日前から健康状態を「健康チェックシート」(様式 C-2)に記入し、健康管理を徹底する

(2) 試合日

- ・ 指定された入場・退場時間を守ること。当日は入館口で検温をするなど、港区スポーツセンターの指示に従うこと
- ・ 6階観客席利用は待機時間のみとし、アップや席の移動はしない
- ・ 会場では、コート上の選手を除き、マスクを着用
- ・ 館内では水分補給のための飲料を除き、飲食しないこと
- ・ ドリンクボトルやタオルは共有せず、個人ごとに準備する。帯同審判も飲み物は各自で準備する
- ・ 両チームスタッフ・審判との握手や、集合写真撮影は行わない
- ・ 円陣、ハイタッチ、ハグ等の接触は避けること
- ・ 大きな声を出しての応援は控える
- ・ 審判はホイッスルカバーを付けて審判用マスク着用するか、マスク着用の上電子ホイッスルを利用するかのをいずれかとする
- ・ TOはマスク・手袋着用で行う
- ・ 審判・TO終了後は、機器その他触れた箇所の消毒を各自で行う

(3) 試合後

- ・ ゴミは必ず持ち帰るよう、個人でもチームでもゴミ袋を準備すること
- ・ 更衣は接触を避けてできるよう、更衣室を使う場合は入り口を開けた状態で、更衣の順番について工夫する

(4) 帰宅後

- ・ 帰宅後 14 日以内に感染した場合には、必ずチームの責任者と港区バスケットボール連盟へ報告すること

5. 大会までの準備

(1) 主催者で揃えておくもの

通常の備品	・ 筆記用具、文房具、チーム登録票ファイル、組合せ表、星取表、等	
追加で準備	消耗品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒液 ・ ペーパータオル ・ ラップ ・ ゴミ袋 ・ マスク（予備用） ・ 消毒用ウェットティッシュ ・ 使い捨て手袋
	備品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子ホイッスル ・ 電池 ・ カゴ（消耗品を入れる）
	ガイドライン関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ JBA ガイドライン最新版 1部 ・ 港区民大会運営マニュアル 2部

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 港区民大会主催者用チェックリスト 1部／試合日 ・ 同意書／活動報告書 (C-1) (予備) 2部 ・ 健康チェックシート (C-2) (予備) 5部
--	--	---

(2) 試合会場

- ・ ベンチ: 椅子は間隔をあけて2列の互い違いに配置
- ・ TO: デジタイマー、ショットクロック、ファウル操作盤、ストップウォッチをラップで覆う
- ・ アリーナ出入り口、審判控え室、更衣室: 常時ドアを開放
- ・ 人の流れが交差しないよう、出入り口を管理する

6. 大会中の対応

(1) 感染拡大が懸念される場合

- ・ 東京都あるいは港区が感染拡大が懸念される状態であると判断した場合は、大会の中止を検討する

(2) チームが参加できない場合

- ・ 参加チームが提出した「同意書／活動報告書」(様式 C-1)を確認し、本書 2. 実施ガイドライン に抵触する場合は、出場を取りやめる措置を取る
- ・ 大会当日にチーム内から体調不良者や陽性者／濃厚接触者が出た場合の参加可否については、JBA ガイドラインの対応フローを参考に対処を検討する
- ・ 試合直前あるいは会場到着直後などでも体調不良者が発生した場合は、試合への参加を見合わせるよう勧告する
- ・ チーム事情により参加できない場合、大会は継続し、対戦相手の不戦勝(20-0)とする

(3) 試合日における対応

- ・ 参加チームおよび個人が定めた事項について遵守できているか確認し、守られていない場合、注意を促す
- ・ マスクを着用していない場合、準備した予備のマスクを配布する
- ・ 試合後の消毒・ゴミ捨てに関しては、役員も出来る限り協力する
- ・ デジタイマー等は、各試合後に覆ったラップを交換する
- ・ TOで使用した文房具や備品は試合ごとに消毒する
- ・ 全体を監視する役員を1名以上任命し、「港区民大会主催者用チェックリスト」に基づき、記録を行い、記録後のチェックリストは保管する

(4) 控え室および本部席での行動

- ・ 本部席では席を離して配置して座ること
- ・ こまめに手洗いや手指の消毒を行い、文房具の共用を行う際には使用後に消毒をする
- ・ 控え室では席が向かい合わないよう椅子を配置して座ること。特に食事をする際には手洗いや手指の消毒を行い、会話をしないよう留意する

7. 大会後の対応

(1) 収集した書類の保管

- ・ 「同意書／活動報告書」(様式 C-1)および「健康チェックシート」(様式 C-2)については、

鍵のかかるキャビネットに3ヶ月間は保管する

(2) 収集した書類の利用

- ・ 試合後に参加者が陽性と判明し、濃厚接触者の判定のために行政等から求められた際には提供する

8. 使用する様式等

- ・ 同意書／活動報告書【様式 C-1】
- ・ 健康チェックシート【様式 C-2】
- ・ 港区民大会主催者用チェックリスト